

吉村均さん「瑞宝双光章」受章

吉村均さん（七十二歳・大崎）が、長年にわたる地方自治の発展と住民福祉の向上への貢献が認められ、平成二十三年秋の叙勲「瑞宝双光章」を受章されました。

十二月十日、中央公民館で受章祝賀会（発起人代表 黒川武志・大崎分団後援会会長）が盛大に開催され、大勢の出席者が吉村さんの栄誉をたたえました。

吉村さんは昭和三十六年に旧吾川村に奉職し、以来二十六年余りにわたり企画課長など要職を歴任してこられました。昭和六十二年には収入役に就任し、十五年間職務に精

励し、会計管理の適切な運営や公金管理の安全性の確保に尽力されました。

また、精通した財政知識と経験を生かし、後輩の指導にも力を注いだほか、健全な財政基盤の確立に努めてこられました。

た。

来賓やご友人から数々の祝辞が贈られた後、吉

村さんは「昭和六十二年に藤崎富士登村長が誕生した時、四十八歳で収入役に就任して以来、皆さまのお陰で十五年間無事に務めることができました。今後もこの栄誉に恥じることのないよう、一層精進してまいります」と謝辞を述べました。



東京オリンピックの開催された昭和39年の吉村さん。入庁3年目

【公務員歴】

昭和36年 1月	吾川村役場入庁
昭和59年10月	企画調査室長
昭和61年12月	吾川村出納員
昭和62年 4月	企画課長
昭和62年 7月	吾川村収入役
平成14年 6月	退職

西森鶴さん秋の褒章「黄綬褒章」受章

平成23年秋の褒章で、西森鶴さん（73歳・東古城山）が、建設業一筋に精励し多くの人の模範になったとして「黄綬褒章」を受章されました。

西森さんは昭和38年8月に上陸し高知県に甚大な被害をもたらした台風9号をきっかけに、昭和39年に西森建設（現・株式会社西森建設）を創立し代表者に就任しました。以来、培った優れた施工技術と徹底した安全管理によって災害復旧工事のほか、大渡ダム関連工事や地すべり防止対策工事、民間工事では鳥形山石灰鉱山開発関連工事など、長年にわたって数多くの優良工事を施工し、地域の生活基盤や産業基盤の整備に多大な貢献をされました。

12月11日には、長者出張所で受章祝賀会（主催・長者地域／泉川地域）が開催され、建設業関係者や地域住民ら約150人が西森さんの栄誉をたたえました。

西森さんは「長者地域長と泉川地域長をはじめ、地域の方にはこのような会を開いていただき感謝しております。皆さんのお支えでここまでやってくることができ、このような名誉な褒章を頂いて大変嬉しく思っています」と謝辞を述べました。



夫人らと鏡割りをする西森さん（左から2人目）

日浦郷一さん高知県功労者表彰受賞

仁淀川森林組合代表理事組合長の日浦郷一さん（75歳・正ノ石）が、高知県功労者表彰を受賞しました。

日浦さんは吾川村森林組合専務理事として、森林組合の広域合併推進、実現の中心的役割を果たしたほか、長年にわたって林業関係団体の要職を歴任し、林業振興の発展に寄与してこられ、その功績が認められました。



表彰を受けた日浦さん

開催となりました。したが、出場した八校の選手は、寒さを吹き飛ばす熱戦を繰り広げました。一回戦は香川県大会優勝の西媛県大会優勝の重信中学校（東温市）と、立て続けに強豪チー

つて全国に行くことが次の目標で、そのために練習を頑張っていきます」と力強く話してくれました。

11月20日 徳島市で開催された「四国中学生新人ソフトボール大会」に、高知県中学校ソフトボール新人大会準優勝の仁淀中学校が出場し、新チーム結成後初めての優勝を果たしました。

ムとの対戦となりました
が、集中力とつなぐ打線
で見事勝利を收めまし
た。

倉橋花美さん「いい歯の表彰」で最優秀

11月23日 平成23年度高知県いい歯の表彰式が行われ、熟年者の部で最優秀の知事表彰を受賞した倉橋花美さん（85歳・太郎田）が、尾崎知事から表彰状を受け取りました。

「いい歯の表彰 熟年者の部」は、80歳以上で20本以上の歯（かむことのできる自分の歯）があり、歯茎の状態なども健康で、口の中の清潔が保たれている方が選ばれ、今年は県内5人が受賞されました。

倉橋さんは「知事表彰に選んでいただき、大変驚いています。ありがとうございました。特別気をつけることはなく過ごしてきましたが、水と空気のきれいなこの土地や、丈夫な歯を頂いた両親

の表彰」で最優秀
に感謝しています。これからも、好き嫌いなく
ありがたく何でも頂き、元気に過ごしていきた
いと思います」と喜んでいました。

ほかにも、町では正ノ石の片岡隆さん（82歳）・千恵子さん（81歳）が、ご夫婦で優良賞を受賞されています。

また、親と子の部では、竹ノ谷の北川正治さん・絢香ちゃん
親子が、高知県
歯科医師会表彰
(優良賞) を受
賞されました。



最優秀に選ばれた
倉橋さん



最優秀に選ばれた
倉橋さん

さくらクラブ吾川杯ソフト 大崎ジュニア準優勝

11月13日 観光センター運動広場で、第4回さくらクラブ吾川杯ジュニアソフトボール大会が開催されました。

冬空のもと、町内外から大崎ジュニア、中津ジュニア、別府メッツジュニア、尾川子ども会（佐川町）の4チームが集まり、日ごろの練習の成果を最大限に発揮しました。

総当たり戦を行った結果3チームが2勝1敗で並び、得失点差により尾川子ども会が優勝し、大崎ジュニアが準優勝を果たしました。



大崎ジュニアのメンバー

た。 日を過ごしました。
また、午後からは池川神社で池川神楽を堪能し、充実した一日を過ごしました。



11月23日 仁淀川町との交流を目的として、高知市二葉町民ら約四十人が来町しました。

この交流は、次の南海地震で地盤沈下により長期浸水被害が予想されている二葉町が、震災時に都市部と山間部で協力し合える関係を築くために始めたものです。

一行は午前十時に北浦へ到着後、439市で地場産品を買い求め、によど自然素材等活用研究会・井上光夫代表のガイドで上土居地区を散策しました。そ

の後、池川コミュニティーセンターで池川の暮らしと過去の災害、役場防災担当者による町の防災政策に関する説明を聞きました。

二葉町40人仁淀川町の人 自然・文化にふれる

大崎小ふれあいバザー大盛況

11月26日 大崎小学校で「東日本大震災復興ふれあいバザー」が開催され、児童の家族や地域住民ら約70人が訪れました。

児童たちは、慣れない接客と予想以上の行列に戸惑いながらも、店番やお茶の接待など、学年ごとに分担して頑張りました。

6年生を中心に「東北の子どもたちのために自分たちにできること」を一生懸命考えて実現したこのバザーには、地域の方からたくさんの品物と寄付金が集まりました。また、宣伝や当日の設営など多くの方の協力がありました。

児童からは「お願いに行ったら、紙袋いっぱいの品物をくれた人もいて嬉しかった」「お客

地域の協力に喜びと感謝の声

さんが次々来て大変やったけど、被災地のためになるならと頑張った」など様々な感想と、感謝の言葉が聞かれました。

